

## 入学時データを活用した教育改善 —2026 年度新入生プレースメントテストの分析と支援設計—

東京医療保健大学では、入学時点における基礎学力の状況を把握し、その後の学修支援や初年次教育の充実につなげることを目的として、2026 年度新入生を対象にプレースメントテストを実施しました。IR 推進室では、この結果を大学全体の視点から分析し、教育改善に活用しています。

2026 年度は、英語・数学・国語の 3 教科について、679 名を対象に実施し、3 科目がそろった 677 名について総合得点を算出しました。大学全体の平均点は、英語 81.60 点、数学 83.39 点、国語 71.18 点、総合 236.17 点でした。大学全体としては、数学が相対的に高く、国語において読解・文章理解・論理的記述の基盤づくりを意識した支援の必要性が示されました。

本学では、このような入学時データを、単なる現状把握にとどめず、初年次教育の内容調整、基礎学力支援の重点化、学修相談の充実、学科・専攻の実情に応じた教育支援の設計等に役立てています。多様な背景をもつ学生が入学する本学においては、入学後の早い段階で学修上のつまづきを予防し、学びの定着を図ることが重要です。

また、プレースメントテストの結果は、今後、成績、学修実態調査、授業評価、卒業時評価等のデータと接続することで、教育課程の妥当性の検証や支援施策の効果確認にも活用していく予定です。IR 推進室では、今後もデータに基づく教育改善を進め、学修成果の可視化と教育の質保証に取り組んでまいります。

項目	内容
実施対象	2026 年度新入生のうちプレースメントテストを受験した 679 名
実施教科	英語・数学・国語(各 50 分)
実施時期	2026 年 4 月 1 日、4 月 2 日、4 月 8 日(各学科・専攻科で実施)
総合得点算出対象	3 科目 677 名(欠損 2 名)
大学全体平均	英語 81.60 点、数学 83.39 点、国語 71.18 点、総合 236.17 点
主な活用方針	初年次教育の改善、基礎学力支援、学修相談、教育改善の効果検証